

## JSPS Information

- ◇日本惑星科学会 第49回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会 第19回運営委員会議事録
- ◇貸借対照表 第6期下記決算報告書, 会計監査報告
- ◇第7期上期一般会計収支予算書, 第7期上期優秀発表賞特別会計収支予算書
- ◇賛助会員名簿

### ◇日本惑星科学会 第49回運営委員会議事録 (案)

日時：5月27日(火) 17:00-20:00

場所：合同大会会場204号室

運営委員

(出席者)：水谷 仁, 阿部 豊, 井田 茂,  
倉本 圭, 香内 晃, 佐々木晶,  
田近英一, 城野 信一, 林 祥介,  
向井 正, 山本哲生, 渡邊誠一郎,  
荒川政彦, 安部正真, 渡部潤一,  
榎森 啓元, 中島 健介, 土山 明,  
中村昭子, 大谷栄治, 並木則行

(欠席者)：堀内千尋, 春山純一

オブザーバー：はしもとじょーじ,  
武智誠次 (大阪市立LOC)

報告：

#### 1. 移行登録の状況について

荒川総務専門委員長から現在までの移行登録状況に関する報告があった。移行率は75.3%であり、会員の約3/4程度が移行完了したことになる。一方、同報メール配布時のエラーメールから計れる電子メールアドレスの登録率は87.3%である。学会情報のスムーズな伝達のためには特に電子メールアドレス

の登録が必要である旨説明があった。また昨年10月から今年5月までの会員入退会に関する報告があった。入会は10名、退会は15名であり、特に学生会員の減少が目立つ旨報告があった。

#### 2. 電子化の現状

林副会長から学会サーバーの進捗状況に関する報告があった。細かなバグ取りは残っているが、システムはほぼ完成したので、特に運営委員各位には積極的にシステムを利用して欲しい旨説明があった。また、学会員を積極的に増やすためにも惑星科学会に興味のある人にはomlに参加するよう勧めるよう要請があった。omlは会員にならなくても非会員登録(1年期限)をすることにより購読できる。最後に、学会サーバーには運営に必要な有用なユーティリティーがそろっているので活用するようにとのことであった。

#### 3. 遊星人の発行状況

倉本編集専門委員長から遊星人の発行状況に関する報告があった。すでに3/25号は発行済みであり、6/25号は版組中である。9/25号は一般記事を中心に作るので現在原稿を募集している(査読原稿は6/25

締め切り)。12/25号は金星特集を予定している。ニューフェースは10人程度執筆者を確保している。巻頭言は、Vol.3が永原会員、Vol.4は渡部(重)会員であるが、常に巻頭言は人選に困り気味なので、積極的に適任者を推薦してくれるよう要請があった。

## 4. EPS会計報告

中村欧文誌専門委員長からEPS運営委員会の会計報告があった。EPS発行の補助金を得るために秋に科研費申請を行う予定である。金額は2千万円程度である。これに関連して学会活動に関わる調査を行う必要があるが、運営委員各位には協力してくれるよう要請があった。EPSへの投稿論文は1~3月は少なかったが、現在はまあまあである。またEPSはインパクトファクター向上のためADSに登録された。これに関連して、佐々木委員からEPS掲載の論文を引用するよう、これまでにEPSに掲載された論文のリストが配付された。

## 5. その他

並木委員から来年度の地球惑星関連合同学会のプログラム委員をはじめとじょーじ会員にお願いする旨報告があった。プログラム委員のもう一人は決まり次第報告するとのことであった。山本副会長(惑星科学専門委員会委員長)から日本学術会議に提出されたActivity Reportが配付された。これは惑星科学専門委員会が最近の日本の惑星科学研究についてまとめたものである。

### 議題：

#### 1. 第6期下期決算

榎森財務専門委員長から第6期下期の決算について説明があった。これまでの滞納金をかなり回収できたので当期の収入が見掛け上多くなっている。

サーバー管理関係の謝金の支払いが滞ったため支出が予算よりかなり減っているが、その分今期の支払いに回っている。夏の学校補助金は申し出がなかったもので予算には計上したが支出しなかった。今期はすでに夏の学校事務局から補助の要請が来ている。予算で計上しなかった大きな支出としてはIUGGの分担金の20万円がある。水谷会長の要請により当該事務局に支払ったが、阿部委員指摘により、あくまでも貸付金として申し出れば、学会開催後戻ってくる可能性があることがわかった。

#### 2. 第7期上期予算

榎森財務専門委員長より第7期上期の予算について説明があった。収入に関しては、賛助会員がまた一つ退会の予定であり減収の可能性が指摘された。支出に関しては事務委託先のイーサイドとの契約更新にともない管理費が9万円アップとなった。林副会長からイーサイドへの支払いは現状でも随分と勉強してもらっているので価格改定後でもイーサイドにとってはかなり安いとの説明があった。

#### 3. 会則改定案

榎森財務専門委員長より昨年度から継続審議事項になっている学生会員の定義とそれに関連した会則改定についての説明があった。議論の結果、学生の定義に関しては、「学籍を有するもの」だけとし、職業の有無に関する文言は会則には明記しないこととした。また、会員の種別に関しては、正会員を一般会員と学生会員に区別して呼称することとした。

#### 4. 会員数および財務状況の報告

榎森財務専門委員長から現在の学会の財務状況について説明があった。会員数に関しては特に学生会員の減少が顕著であるため、これが学会費収入を

減額させている。学生会員は怠納率が高いのでそれなりのリスクはあるが、将来も考えると積極的に会員としてスカウトすべきであるとの指摘がなされた。イーサイドとの契約は今年21万円値引きしてもらっているが、来年の契約更新ではパイロット期間が過ぎるので管理費の負担が増加することが見込まれる。これらの諸事情を考えると今後の学会財務状況はほぼ収支0円から少々の赤字となる。そのため学会の財務的健全運営には会員数を600人程度にまで引き上げる必要があるとの指摘がなされた。学生会員を増やす一環として、web上の入会申し込み必須項目としてあげられている紹介者欄を必須項目から外してはどうかという提案があった。議論の上、必須項目を外して広く一般からも会員を募ることとした。

## 5. 学会賞関連

並木学会賞検討部会長より、昨年度から継続審議になっている学会賞関連の内規と実施案についての説明があり、それに関する議論がなされた。若手賞(仮名)の受賞人数に関する議論では、原則そして1名とし、選考委員会の裁量により2名受賞も認めることとした。またこの改定にともない2名受賞の場合は受賞賞金は折半とすることにした。次に選考委員の人数に関する議論があった。惑星科学のカバーする研究の広さを鑑み選考委員の人数には上限を決めないこととした。ただし下限は5名とすることにした。本年度の選考委員に関して水谷会長から8名の推薦がなされて、運営委員会で原案通り承認された。ただし、委員長に関しては選考委員の中で互選により決めてもらうことになった。また委員長の仕事はかなり負荷のかかるものであるので学生賞と若手賞でそれぞれ委員長を立ててはどうかという提案がなされた。それぞれの賞の正式名称を「日本惑星科学会最優秀発表賞」と「日本惑星科学会優秀研究者賞」とすることになった。並木検討部会長により提案された内規はこれらの訂正を加えた後、総会に議案とし

てかけることが承認された。なお、学会賞検討部会は総会で内規が議決された後、解散し、学会賞に関する仕事はすべて選考委員会に引き継がれることになった。

## 6. 2003年秋季講演会

武智会員(秋季講演会LOC)から秋季講演会に関する詳しいスケジュールの説明があった。今年度の秋季講演会では、はじめて学会賞の審査が行われるので選考委員会を良く連絡をとって運営を行ってほしいという要望があった。また秋季講演会のwebページを学会ホームページとリンクを張り、学会終了後、秋季講演会のホームページをアーカイブして提供して欲しいという要望があった。秋季講演会のホームページは学会サーバー内に構築可能であるので利用して欲しい旨説明があった。

## 7. IUGG募金関係の報告と方針検討

阿部対外協力委員からIUGGの募金に関する報告があった。北海道と札幌市からの補助金が各1千万円ずつ予定よりも多く得られそうなので資金繰りはかなり良くなった。惑星科学会は水谷会長の努力により25万円の寄付を企業等から集めたが、さらに30~40万円上乗せすることを事務局から依頼されている。これに対して当学会では個人募金の呼びかけを、総会、同報メールやニューズレターで呼びかけることにした。詳しい寄付の方法は阿部委員が後日、会員に連絡することになった。

## 8. 会則改定・研究会の設置

荒川総務専門委員長から昨年度から継続審議になっている研究会の設置に関する会則改定案の説明があった。これに関する会則改訂案は原案通り承

認され、総会に議案として提案されることが承認された。倉本委員から現在、将来計画委員会の検討部会としてある金星フォーラムを会則改定後、研究会として承認して欲しい旨提案があり、承認された。

## 9. 情報部会の構成について

林副会長から各専門委員会の委員長は情報検討部会の委員を兼ねてもらい、積極的に学会サーバーを運営に利用するよう依頼があった。

## 10. 秋季講演会について2004年

荒川総務専門委員長より、2004年度の秋季講演会を北海道大学で開催したいとの提案があり、了承された。北大LOCから、大会委員長は林会員の予定であるとの報告があった。

## 11. その他

総会の議長として中村(昭子)会員を推薦し、書記としてはしもとじょーじ会員を推薦した。

以上。

# ◇日本惑星科学会第19回総会 議事録

2003年5月28日17:00-18:30

合同大会会場 301B号室

千葉県千葉市美浜区中瀬2-1 幕張メッセ 国際会議場

出席者：48人

委任状提出者：76人

会員数：526人

議事次第

## 1. 開会宣言

荒川総務専門委員長が開会を宣言。

## 2. 議長団選出

推薦により、議長に中村昭子会員、書記にはしもとと会員が選出された。

## 3. 議事

### 3.1 第6期下期活動報告

#### 基調報告

林副会長

学会サーバーの構築は、ほぼ完了し利用可能の状態になっており、運営委員会、及び会員各位は積極的に利用していただきたい旨報告があった。

#### 会計報告

榎森財務専門委員長

榎森財務専門委員長より、第6期下期に関する決算報告があり、それに関連して以下の様な説明があった。昨年度は約20万円の黒字があったが、これは会費納入が多かったためである。しかしながらこれは滞納されていた会費を厳しく取り立てたためである。これからも速やかな会費納入をお願いしたい。去年の諸謝金の支払いが遅れて前期の決算に間に合わなかった。その去年の分の支払いは今期におこなった。夏の学校の補助金についてであるが、去年は補助金の申請がおこなわれた時期が夏の学校

終了後であったので、予算には計上していたが補助を行わなかった。今年には既に補助金の要請が来ており、補助を行う予定である。また現在、IUGG事務局に20万円を貸し出している。

### 会計監査報告

村江前会計監事

監査の結果、収支決算に誤りのないことを確認したとの報告があった。

### 各種専門委員会報告

荒川総務専門委員長

昨年度、学会の事務関連業務は電子化を行い、現在Web上で種々のサービスが可能な状態になっている。会員へのサービスを行うには名簿の電子化が必須なので会員方々には電子名簿の移行登録をお願いしている。その結果、現在は75%程度の会員が移行登録を済ませており、未移行登録者は100名程度となっている。速やかに移行登録が完了するよう協力願いたい。また、すでに現在、郵送によるニュースレターを配付していないので、学会からの連絡は電子メールのみである(学会誌を除く)。そのため学会名簿に正しい電子メールアドレスが記載されていることが大切である。現在、学会からのメールの配送成功率は約90%であり、50名程の方のアドレスが未登録、もしくは配送不可のものとなっている。会員数は去年に比べると5名減となっており、特に学生会員の減少がここ数年顕著である。

<質疑>なし

<採決>

採決の結果、賛成48名、反対0名となり、過半数の賛成により第6期下期活動報告は可決された。

## 3. 2 第7期上期活動方針

### 基本方針

林副会長

最初に第7期役員を紹介があり、引き続き、今期

の活動方針について以下のような説明があった。今期の活動のいちばんの目玉は学会賞の創設である。若い研究者や学生のはげみとして、またその後の研究活動でこの受賞歴が役立つことを期待して創設するものである。現在、会員数が微減の状態にあり、財政的にも厳しい環境にある。会員の勧誘を積極的に行いその数を600人くらいまで伸ばしたいと考えている。学会ホームページから簡単に入会手続きできるので積極的に勧誘して頂きたい。また非会員の登録では、メーリングリストにのみ登録される。この非会員登録を有効に利用して、会員増に結びつきたい。さらに学生会員の減少が顕著であるので、特に学生には入会を呼びかける努力をお願いしたい。

倉本編集専門委員長

新編集委員の紹介の後、以下のような報告があった。遊星人に研究成果を掲載したい時には、近くの編集委員に声をかけて欲しい。遊星人の発行編集状況については、第1巻はアストロバイオロジー特集ですでに出版されている。第2巻は6月下旬に出版予定である。第3巻は現在原稿を集めている過程である。第4巻は高橋幸弘(東北大)さんをゲストエディターに迎えて金星特集を予定している。また現在、投稿企画を募集中であるので、良いアイデアがある人は編集委員までご一報願いたい。例えば、これまで「若手が聞く日本の惑星探査」などが一般投稿により企画化された。

佐々木欧文誌専門委員

論文の引用率を高めることは雑誌のクオリティーを高める上で重要であるので、EPSに出た論文を積極的に引用するよう要請があった。最近では公募で論文の引用率などが調べられたりするので、若手研究者の論文を是非引用するようとの呼びかけがあった。また、e-Letter というセクションが新設され、迅速にレビューすし、PDFでウェブ上で公開されるとの説明があった。カラーも使えるが、年度末に紙に印刷

されるときには白黒になる。なおWebへのアクセスは無料である。

#### 渡部対外協力専門委員長

IUGGのアウトリーチに関して協力要請がきているが、良いことなので学会として対応する予定である。協力には人の派遣が必要であるが、運営委員会で相談した結果、現地対応・倉本会員、実務対応・春山会員という体制で行うことになった。また、学会の英語の正式名称に関して多少の混乱が見られたので「The Japanese Society for Planetary Sciences」であることを確認した。

#### 予算

##### 榎森財務専門委員長

榎森財務専門委員長から第7期上期に関する収支予算案の説明があった。詳細は以下の通りである。

#### 収入の部

賛助会員から退会願い出ており、これを慰留できなければ会費10万円分が減額になる予定。また前期の一般会費収入の上昇は滞納会費の納入によるので、今期はこのような滞納会費の納入は見込めない。秋季講演会関係の予算は大阪市立大学実行委員会から提案されているものである。

#### 支出の部

サーバー管理に関する謝金は、未払いであった前期と今期の合計が計上されている。ウェブページの第三者認証に必要な費用は諸謝金に計上している。管理費の業務委託費は、イーサイドとの話し合いの上、値引き率の減少に伴い9万円の増額となっている。

#### 優秀発表賞特別会計

今期から実施される学会賞に対応して、優秀発表特別賞特別会計を設けることにした。その結果、一般会計と特別会計の2本立ての収支予算案となって

いる。この特別会計には、寄付金の100万円が予算として計上されている。

<質疑>なし

<採決>

採決の結果、賛成46名、反対0名となり、過半数の賛成により第7期上期活動方針は可決された。

### 3. 3 学会賞関連規定と実施について

#### 並木学会賞検討部会長

並木学会賞検討部会長から、昨年度秋の総会で報告した学会賞について、その後の審議の経過と原案に関する説明があった。学会賞二賞に関する内規は、検討部会で十分な議論の後、昨日の運営委員会に提案され、修正の後、承認されたとの報告があった。その後、各内規について詳しい説明があった。学生賞は発表を対象に、若手賞は論文を対象にするとの方針が述べられた。また、各賞に関してニックネームの募集があるとの報告があった。最後に本年度の学会賞選考委員の紹介を行った。

<質疑>

Q. 賞金の使い道に制限はあるのか？

A. 制限はない。

Q. 講演申込みすればエントリーしたことになるのか？

A. 講演申込みとは別に学会賞へのエントリーが必要。

Q. オーラルとポスターとはかはどうなるのか？

A. 考委員の方針によって決まるので、選考委員会が出す要項を見て欲しい。

#### 資金についての補足説明

賞金は特別会計に組み込まれた100万円の寄付が資金になっているので、予算が尽きたら賞金授与ができなくなる。学会賞を維持するためにも寄付をお願いしたいとの発言があった。

<採決>

採決の結果、賛成46名、反対0名となり、過半数

の賛成により学会賞関連規定は可決された。

### 3. 4 研究会設置に関する会則改定

荒川総務専門委員長

荒川総務専門委員長から改訂案の策定経緯と趣旨の説明が以下の通りなされた。研究会を作りたい人は運営委員会に申し出てもらう。本会則の趣旨に合う活動なら承認される。承認されれば惑星科学会の名前を使って活動できたり、MLやホームページを学会サーバー上で運用できる等の利点がある。また、毎年活動状況を確認して、休眠状態なら廃止することもありえる。

林副会長

本案の趣旨の一つは運営委員会の仕事を減らすことである。研究会を主催する方々は自由に学会名を使用して教育・研究活動を行って欲しい。

<質疑>

Q. 学会員以外もメーリングリストに入れるのか？

A. 非会員登録してもらえれば入れる。運用条件など決めていないのでこれから決めるが、どうなるかわからないところがある。多くの会員を一度に登録するのは現状では大変に難しい。

<採決>

採決の結果、賛成45名、反対0名となり、2/3以上の賛成により学会賞関連規定は可決された。

## 4. 報告事項

### 4. 2 2003年秋季講演会について

春山行事部会長

LOCは大阪市立大学であり、開催日程は10月8日～10日である。詳細は、7月に開設されるホームページに掲載の予定。今回は予稿をPDFで提出してもらうことになるとの報告があった。

LOC・南実行委員長の挨拶

秋季講演会が成功するように頑張りたい旨の発言があった。

### 4. 3 その他

#### IUGG募金のお願い

阿部対外協力専門委員から、募金で集まったお金は発展途上国などからの参加者の旅費の補助に使われるとの説明があった。近いうちにメールなどで募金の案内を出すので、協力をよろしくお願ひしたいとの要請があった。

## 5. 議長団解任

## 6. 閉会宣言

第6期下期(2003年度)  
決算報告書(2002年1月1日~12月31日)

収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	備 考
会費収入	3,925,000	4,106,765	
一般会費収入	3,202,500	2,875,765	会費:7,500円
学生会費収入	540,000	405,000	会費:5,000円
賛助会費収入	350,000	350,000	
滞納分納入	400,000	476,000	796,500円のうち
当期分未収会費	△567,500	-	
学会誌出版事業費収入	49,620	60,631	遊・星・人
購読料	49,620	60,631	個人・機関購読
広告料	0	0	
秋季講演会事業収入	380,000	448,000	天文台水沢
予稿集頒布収入	130,000	121,500	1000円/冊
参加費	200,000	226,500	1500円/学生1000円
雑収入	50,000	100,000	大学補助金他
寄付金収入	0	0	
雑収入	30,000	45,597	
受取利息	1,000	340	
その他の収入	29,000	45,257	複写権料収入等
当期収入合計(A)	4,384,620	4,660,993	
前期繰越収支差額	2,475,000	2,475,000	
収入合計(B)	6,859,620	7,135,993	



## 支出の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	備 考
学会誌出版広報事業費	2,383,000	1,869,579	遊・星・人
印刷製本費	1,600,000	1,499,299	4回分・表紙
送料運搬費	190,000	184,670	著者分送料含まず
保管料	20,000	20,000	保管:委託事務
事務委託費	133,000	165,610	手数料:委託事務
備品・消耗品費	40,000	0	サーバ周り
諸謝金	400,000	0	サーバ管理
講演会事業費	569,000	653,000	
合同大会共催事業費	89,000	5,000	
送料運搬費	85,000	0	
会場費	4,000	5,000	総会会場費
秋季講演会事業費	380,000	448,000	天文台水沢
予稿集印刷費	120,000	120,120	
会場費	118,800	151,740	概算額
消耗品費	40,000	8,720	受付用品等
諸謝金	96,000	167,420	学会受付者謝金含む
雑費ポスター設置他	5,200	0	ポスター設置店
夏の学校補助金	100,000	0	
I UGG協力金	0	200,000	
管理費(委託事務関連)			E-side
業務委託費	1,149,600	1,159,600	
送料運搬費	70,000	73,380	
ニュースレター送料			
その他送料			会費請求
雑費	20,000	6,630	コピー・通信
管理費(事務局関連費)			
通信費	0	0	
送料運搬費	5,000	470	会誌著者分他
消耗品費	5,000	0	
印刷製本費	10,000	0	集録印刷
諸謝金	60,000	0	学会事務補助
諸手数料	5,000	6,510	振込手数料
負担金	10,000	10,000	学会長懇談会
雑費	5,000	0	
予備費	2,568,020	0	
当期支出合計(C)	6,859,620	3,779,169	
当期収支差額(A-C)	△2,475,000	881,824	
次期繰越収支差額(B-C)	0	3,356,824	

## ◇第6期下期(2002年度)会計監査報告

日本惑星科学会会長殿

平成15年5月16日

### 第6期下期(2002年度)会計監査報告

財務専門委員会からの収支決算報告を監査した結果、収支計算に誤りのないことを確認しました。

日本惑星科学会監事

村江達士

中川義次

第7期上期（2003年度）  
一般会計収支予算書（2003年1月1日～2003年12月31日～）

収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	前年度決算額	ガイドライン額・備考
会費収入	3,927,500}	4,106,765}	4,000,000
一般会費収入	3,217,500	2,875,765	会費:7,500円429人
学生会費収入	460,000	405,000	会費:5,000円92人
賛助会費収入	350,000	350,000	4法人7口
滞納分納入	400,000	476,000	678,500円のうち
当期分未収会費	△500,000	--	
学会誌出版事業費収入	66,150}	60,631}	50,000
購読料	66,150	60,631	
広告料	0	0	
秋季講演会事業収入	335,000}	448,000}	300,000
予稿集頒布収入	120,000	121,500	
参加費	215,000	226,500	
雑収入	0	100,000	
寄付金収入	0}	0}	
雑収入	30,000}	45,597}	40,000
受取利息	1,000	340	
その他の収入	29,000	45,257	複写権料収入等
当期収入合計(A)	4,358,650}	4,660,993}	4,390,000
前期繰越収支差額	3,356,824}	2,475,000}	2,200,000
収入合計(B)	7,715,474}	7,135,993}	6,590,000

## 支出の部

(単位:円)

科 目	予算額	前年度決算額	ガイドライン額・備考
学会誌出版・広報事業費	2,620,000	1,869,579	2,390,000
印刷製本費	1,600,000	1,499,299	4回分・表紙
送料運搬費	190,000	184,670	著者分送料含まず
保管料	20,000	20,000	保管:委託事務
事務委託費	170,000	165,610	手数料:委託事務
備品・消耗品費	40,000	0	サーバ周り
諸謝金	600,000	0	サーバ管理
講演会事業費	575,000	653,000	500,000
合同大会共催事業費	140,000	5,000	
送料運搬費	85,000	0	
会場費	55,000	5,000	総会会場費
秋季講演会事業費	335,000	448,000	大阪市立大学
予稿集印刷費	120,000	120,120	
会場費	50,000	151,740	
消耗品費	25,000	8,720	受付用品他
諸謝金	130,000	167,420	学会受付者謝金含む
雑費	10,000	0	通信運搬費他
夏の学校補助金	100,000	0	
IUGG協力金	0	200,000	
管理費(委託事務関連)	1,328,800	1,239,610	1,200,000
業務委託費	1,248,800	1,159,600	
送料運搬費	70,000	73,380	
ニュースレター送料	0	0	
その他送料	70,000	73,380	会費請求
雑費	10,000	6,630	コピー・通信
管理費(事務局関連費)	100,000	16,980	100,000
通信費	0	0	
送料運搬費	5,000	470	会誌著者分他
消耗品費	5,000	0	
印刷製本費	10,000	0	集録印刷
諸謝金	60,000	0	学会事務補助
諸手数料	5,000	6,510	振込手数料
負担金	10,000	10,000	学会長懇談会
雑費	5,000	0	
予備費	3,091,674	0	2,400,000
当期支出合計(C)	7,715,474	3,779,169	6,590,000
当期収支差額(A-C)	△3,356,824	881,824	2,200,000
次期繰越収支差額(B-C)	0	3,356,824	0

**第7期上期(2003年度)優秀発表賞特別会計収支予算書**  
(2003年1月1日～2003年12月31日)

## 収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	ガイドライン額・備考
寄付金収入	1,000,000	1,000,000
当期収入合計(A)	1,000,000	1,000,000
前期繰越収支差額	0	0
収入合計(B)	1,000,000	1,000,000

## 支出の部

(単位:円)

科 目	予算額	ガイドライン額・備考
優秀発表賞賞金	200,000	200,000
予備費	800,000	800,000
当期支出合計(C)	1,000,000	1,000,000
当期収支差額(A-C)	0	0
次期繰越収支差額(B-C)	0	0

**貸借対照表**  
(2002年12月31日現在)

(単位：円)

資産の部		負債及び正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産		流動負債	
現金預金	4,696,604	未払金	294,420
未収金	0	前受金	1,045,360
流動資産合計	4,696,604	流動負債合計	1,339,780
固定資産		固定負債	0
貯蔵品	50,000	長期借入金	0
固定資産合計	50,000	固定負債合計	0
		負債合計	1,339,780
		正味財産	3,406,824
		正味財産合計	
資産合計	4,746,604	負債及び正味財産合計	4,746,604

現金預金内訳	金額	備考
財務口座（三井住友銀行）	4,402,184	
現金預金合計	4,402,184	

前受金内訳	金額	備考
前受会費（一般会員）	45,360	
前受寄付	1,000,000	
前受金合計	1,045,360	

未払い金内訳	金額	備考
印刷費	294,000	星光社
振込手数料	420	
前受金合計	294,420	

貯蔵品は、学会誌の在庫の概算額である。

◇日本惑星科学会賛助会員名簿

2003年9月25日までに、賛助会員として本学会に御協力下さった団体は下記の通りです。社名等を掲載し、敬意と感謝の意を表します。

宇宙開発事業団

カメカインスツルメンツ（株）

（株）日立製作所放送・通信システム推進本部

（財）リモート・センシング技術センター